

2025年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月6日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社不二越
 コード番号 6474 URL <https://www.nachi-fujikoshi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役 社長執行役員 (氏名) 黒澤 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 坂本 晴彦 TEL 03-5568-5210
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年11月期第3四半期の連結業績（2024年12月1日～2025年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期第3四半期	174,194	△2.9	6,628	62.7	5,141	169.4	3,640	31.0
2024年11月期第3四半期	179,431	△10.4	4,074	△60.3	1,908	△80.2	2,778	△55.9

(注) 包括利益 2025年11月期第3四半期 5,392百万円 (1,773.2%) 2024年11月期第3四半期 287百万円 (△98.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年11月期第3四半期	161.29	—
2024年11月期第3四半期	119.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年11月期第3四半期	324,744	165,965	49.7
2024年11月期	334,757	164,665	47.4

(参考) 自己資本 2025年11月期第3四半期 161,264百万円 2024年11月期 158,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2025年11月期	—	0.00	—		
2025年11月期（予想）				100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年11月期の連結業績予想（2024年12月1日～2025年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	243,000	1.3	8,600	29.6	6,600	55.8	4,000	19.3	175.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年11月期3Q	24,919,343株	2024年11月期	24,919,343株
② 期末自己株式数	2025年11月期3Q	2,582,608株	2024年11月期	2,128,478株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年11月期3Q	22,573,020株	2024年11月期3Q	23,302,479株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、（添付資料）2ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結損益計算書に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における当社グループをとり巻く環境は、自動車分野において緩やかな回復が見られるものの、米国経済の減速懸念の高まりやウクライナ侵攻、中東情勢の緊迫化、為替動向など、先行き不透明な状況が継続していることに加え、中国・欧州の経済成長の減速など、一部で事業環境の厳しさが増しております。

このような状況のもと、当社グループは、中長期的な脱炭素・EV化をはじめとする産業構造の大変革を見据え、工具、工作機械、ロボット、ベアリング、油圧機器、そして特殊鋼事業をあわせ持つ総合機械メーカーとしての長をを活かし、ユーザーのものづくりに寄与する新商品の開発や技術提案などにより、受注・売上の拡大にとり組んでおります。また、利益の改善に向けて、設備や人員の適正化、標準ベアリングの集約生産、さらには全部門を対象とした合理化、内製拡大など、事業全般の構造改革をより一層推進しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、国内の自動車分野は緩やかな回復が見られる一方で、国内の建設機械分野での需要低迷やアセアンでの在庫調整の影響を受け、1,741億94百万円（前年同期比2.9%減）、このうち、国内売上高は858億2百万円（同2.2%減）、海外売上高は883億92百万円（同3.6%減）となりました。

利益面につきましては、ロボット、油圧機器などで操業度が悪化しましたが、構造改革による固定費の削減、原材料価格上昇分の販売価格への転嫁、生産ラインの自動化・合理化、調達コストダウンにとり組んだ結果、営業利益は66億28百万円（同62.7%増）、経常利益は51億41百万円（同169.4%増）となりました。また、資本効率の向上をはかるために政策保有株式の縮減を推し進め、投資有価証券売却益として19億33百万円を特別利益に計上、一方で余剰設備や人員の適正化を推し進め、構造改革費用として12億72百万円を特別損失に計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は36億40百万円（同31.0%増）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

機械工具事業では、国内において産業機械分野の需要が増加しましたが、中国におけるロボットの需要減少の影響で、売上高は545億56百万円（前年同期比3.9%減）となりました。営業利益は、工作機械において操業度が改善したことに加え、労務費など固定費の削減により、24億98百万円（同10.6%増）となりました。

部品事業では、一部自動車メーカーの生産回復によりカーハイドロリクスの需要が増加しましたが、国内の建設機械メーカーの生産調整により油圧機器の需要が減少し、また、アセアンの市販代理店での在庫調整によりベアリング需要が減少した結果、売上高は1,085億11百万円（同1.9%減）となりました。一方、営業利益は設備や人員の適正化など、構造改革により固定費・販管費を削減し、37億円（同272.4%増）となりました。

その他の事業では、国内を中心に特殊鋼の需要が減少し、売上高は111億26百万円（同7.3%減）となり、営業利益は操業度の悪化などにより、4億3百万円（同47.5%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、3,247億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ100億13百万円減少しました。主として、現金及び預金が53億94百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が19億4百万円、有形固定資産が68億66百万円減少し、棚卸資産が16億68百万円、投資有価証券が18億94百万円増加しております。

負債合計は、1,587億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ113億12百万円減少しました。主として、電子記録債務が69億84百万円、借入金が36億61百万円、未払法人税等が10億70百万円減少し、支払手形及び買掛金が10億37百万円、繰延税金負債が12億円増加しております。

純資産合計は、1,659億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億99百万円増加しました。主として、利益剰余金が13億38百万円、その他有価証券評価差額金が12億83百万円増加し、非支配株主持分が11億31百万円減少しております。また自己株式の取得などにより自己株式が14億83百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月期の通期の連結業績予想につきましては、2025年1月14日発表の予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,263	28,868
受取手形、売掛金及び契約資産	54,049	52,145
電子記録債権	8,700	8,148
商品及び製品	32,065	33,001
仕掛品	12,347	13,444
原材料及び貯蔵品	22,749	22,385
未収還付法人税等	677	1,121
その他	5,725	6,670
貸倒引当金	△139	△168
流動資産合計	170,438	165,615
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,189	31,207
機械装置及び運搬具(純額)	64,602	56,327
その他(純額)	18,771	21,161
有形固定資産合計	115,563	108,696
無形固定資産	4,282	4,116
投資その他の資産		
投資有価証券	27,102	28,996
退職給付に係る資産	11,260	11,237
その他	6,118	6,089
貸倒引当金	△7	△8
投資その他の資産合計	44,473	46,315
固定資産合計	164,319	159,128
資産合計	334,757	324,744
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,396	16,433
電子記録債務	23,305	16,320
短期借入金	8,824	13,885
コマーシャル・ペーパー	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	19,385	14,914
未払法人税等	1,770	699
その他	15,165	13,375
流動負債合計	93,848	85,628
固定負債		
長期借入金	52,853	48,602
役員退職慰労引当金	32	33
株式給付引当金	567	626
退職給付に係る負債	8,662	8,705
その他	14,126	15,182
固定負債合計	76,243	73,150
負債合計	170,091	158,779

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,074	16,074
資本剰余金	11,543	12,326
利益剰余金	111,352	112,690
自己株式	△8,343	△9,826
株主資本合計	130,628	131,265
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,499	14,782
為替換算調整勘定	14,508	15,126
退職給付に係る調整累計額	198	90
その他の包括利益累計額合計	28,205	29,999
非支配株主持分	5,831	4,700
純資産合計	164,665	165,965
負債純資産合計	334,757	324,744

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
売上高	179,431	174,194
売上原価	142,324	135,926
売上総利益	37,107	38,268
販売費及び一般管理費	33,032	31,639
営業利益	4,074	6,628
営業外収益		
受取利息	248	215
受取配当金	734	738
団体定期保険配当金	376	358
その他	306	478
営業外収益合計	1,665	1,791
営業外費用		
支払利息	1,100	815
売上割引	367	361
為替差損	244	330
持分法による投資損失	46	59
休止固定資産減価償却費	916	828
団体定期保険料	416	365
その他	739	516
営業外費用合計	3,831	3,278
経常利益	1,908	5,141
特別利益		
固定資産売却益	1,232	15
投資有価証券売却益	951	1,933
特別利益合計	2,183	1,949
特別損失		
固定資産売却損	1	1
固定資産除却損	14	141
投資有価証券評価損	56	—
構造改革費用	—	※ 1,272
その他	52	18
特別損失合計	125	1,432
税金等調整前四半期純利益	3,967	5,658
法人税、住民税及び事業税	1,602	1,664
法人税等調整額	△312	452
法人税等合計	1,289	2,116
四半期純利益	2,677	3,541
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△100	△99
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,778	3,640

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
四半期純利益	2,677	3,541
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△237	1,327
為替換算調整勘定	△2,101	631
退職給付に係る調整額	△67	△108
持分法適用会社に対する持分相当額	16	△0
その他の包括利益合計	△2,389	1,850
四半期包括利益	287	5,392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	466	5,434
非支配株主に係る四半期包括利益	△178	△42

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」の適用)

「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第46号 2024年3月22日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該実務対応報告第7項を適用しているため、当第3四半期連結財務諸表においては、グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等を計上していません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※構造改革費用

当第3四半期連結累計期間(自2024年12月1日 至2025年8月31日)

当社グループは、利益の改善に向けて事業全般の構造改革を推進するため、グローバルでの生産移管・集約、国内外の生産拠点の再編に伴い発生した費用を、構造改革費用として特別損失に計上しております。その主な内訳は、固定資産の減損損失461百万円、特別退職金等437百万円、棚卸資産の評価損148百万円、その他224百万円であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
減価償却費	14,925百万円	13,957百万円

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年12月1日至2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	機械工具	部品	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	56,792	110,642	11,996	179,431	—	179,431
セグメント間の内部売上高 又は振替高	855	68	3,138	4,062	(4,062)	—
計	57,647	110,710	15,135	183,494	(4,062)	179,431
セグメント利益	2,258	993	769	4,021	53	4,074

(注)1. セグメント利益の調整額は、主としてセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年12月1日至2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	機械工具	部品	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	54,556	108,511	11,126	174,194	—	174,194
セグメント間の内部売上高 又は振替高	741	129	3,215	4,086	(4,086)	—
計	55,298	108,640	14,341	178,281	(4,086)	174,194
セグメント利益	2,498	3,700	403	6,601	27	6,628

(注)1. セグメント利益の調整額は、主としてセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

部品セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、461百万円であります。また、四半期連結損益計算書上は、特別損失の構造改革費用に含まれております。